

レジメン名 DBd

出典 **ダラザレックス適正使用ガイド2017年11月作成**
MMY3004試験

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患
多発性骨髄腫
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱が関連するGrade3のANC減少の再発 ・Grade4のANC減少の再発 ・出血を伴うGrade3以上のPLT減少 ・Grade4のPLT減少 ・Grade3以上の末梢神経障害や神経因性疼痛 →回復するまで休薬後、ボルテゾミブを1段階減量して再開。 減量の目安: 1.3mg/m²→1.0mg/m²→0.7mg/m²→投与中止
-----	--

投与中止の基準

ANC	500/mm ³	PLT	2.5万/mm ³
その他	発熱性好中球減少症、出血を伴うGrade3以上のPLT減少、感染症を伴うANC減少、Grade3以上の非血液毒性		

1クール期間 1-8サイクル:21日 9サイクル以降:28日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	50mL/時より開始	day1、8、15(1-3サイクル)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	100mL/時より開始	day1(4-8サイクル)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	100mL/時より開始	day1(9サイクル以降)
ボルテゾミブ(ベルケイド)	1.3mg/m ²	NS適量	皮下注射	day1、4、8、11(1-8サイクル)
デキサメタゾン(デキサート)	19.8mg/body	前投薬に混合	15分	day1、8(1-3サイクル)
デキサメタゾン(レナデックス)	20mg/body	経口	分1-2 昼までに内服	day2、4、5、9、11、12 (1-3サイクル)
デキサメタゾン(デキサート)	19.8mg/body	前投薬に混合	15分	day1(4-8サイクル)
デキサメタゾン(レナデックス)	20mg/body	経口	分1-2 昼までに内服	day2、4、5、8、9、11、12 (4-8サイクル)

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

<1-3サイクル> day1、8
①アセリオ1000mg+デキサート19.8mg+ポラミン5mg (15分)
②生食100mL (60分)
③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量1000mL (50mL/時より開始※) インラインフィルター使用
④生食50mL (フラッシュ用)
⑤ベルケイド1.3mg/m²+生食適量(皮下注射)
day4、11
①ベルケイド1.3mg/m²+生食適量(皮下注射)
day15
①アセリオ1000mg+ポラミン5mg (15分)
②生食100mL (60分)
③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量500mL (100mL/時より開始※) インラインフィルター使用
④生食50mL (フラッシュ用)

<4-8サイクル> day1
①アセリオ1000mg+デキサート19.8mg+ポラミン5mg (15分)
②生食100mL (60分)
③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量500mL (100mL/時より開始※) インラインフィルター使用
④生食50mL (フラッシュ用)
⑤ベルケイド1.3mg/m²+生食適量(皮下注射)
day4、8、11
①ベルケイド1.3mg/m²+生食適量(皮下注射)

<9サイクル以降> day1
①アセリオ1000mg+ポラミン5mg (15分)
②生食100mL (60分)
③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量500mL (100mL/時より開始※) インラインフィルター使用
④生食50mL (フラッシュ用)
※速度の詳細は添付文書参照・インラインフィルター(0.2µm)を用いて投与
レナデックスは分1-2で昼までに内服